

# －胃カメラ（経鼻内視鏡）の説明・同意書－

## [目的]

内視鏡を用いて食道・胃・十二指腸を観察し、逆流性食道炎、胃炎や胃十二指腸潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ菌感染症、ポリープや悪性腫瘍などの治療が必要な病気がないか調べます。

## [前処置や検査方法]

- ① 胃内の泡や粘液を取り除くために、消泡剤を飲みます。
- ② 両鼻腔に血管収縮薬のスプレーをしてから、ゼリー状の麻酔薬を注入します。
- ③ 麻酔薬の塗ったやわらかいチューブを鼻腔に挿入し、内視鏡スコープの通りを確認します。咽頭反射が強い方は、喉にも麻酔薬のスプレーを追加します。
- ④ 通りのよい方の鼻腔から内視鏡スコープを挿入します。ただし、両鼻腔が狭く挿入できない場合には、喉に麻酔薬をスプレーして口腔から挿入します。検査時間は5-10分程度です。
- ⑤ 必要があれば病理組織の検査（生検）をして、確定診断を付けます。
- ⑥ ピロリ菌の存在が疑われる場合には、血液検査や尿素呼気試験で有無を確認します。

## [偶発症]

- ① 前処置の薬剤（キシロカインなど）によるアレルギー
  - ② 鼻腔出血
  - ③ 内視鏡による粘膜損傷（出血や穿孔）や生検後の出血
- 検査に伴う偶発症を発生する危険性があります。日本消化器内視鏡学会での報告は、全体の発生頻度は0.02%程度です。

## [事前検査]

感染症（B型肝炎、C型肝炎、梅毒）の有無を採血で確認します。

## [注意事項]

- 前日の夜20時以降は絶食ですが、飲水の制限はありません。当日の朝はコップ1～2杯程度のお水やお茶の水分摂取は問題ありません。
- 就寝前の睡眠薬などはいつも通り内服して下さい。また、朝分の降圧薬などは朝7時までに内服して下さい。
- 抗凝固薬や抗血小板作用薬、糖尿病薬などを服用している方は、指示通りの内服や休薬方法を守って下さい。
- 当日は9時に来院して下さい。検査や検査で用いた薬剤により一時的に体調に負担が生じる可能性があり、車やバイク、自転車での来院は控えて下さい。
- 喉に麻酔をした際には誤嚥する可能性がありますので、検査後1時間程度の飲食を控えて下さい。また、生検した当日の運動や飲酒は控えて下さい。

## [胃カメラ同意書]

私は、目的や方法・偶発症の説明を受けて理解した上で、検査を受けることに同意します。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

患者氏名： \_\_\_\_\_ 緊急連絡先：（続柄 \_\_\_\_\_） - - \_\_\_\_\_